

レベル:L2(自校作成・大阪C問題レベル＝意見文)	目標時間:25分	満点:100点(自己採点)
---------------------------	----------	---------------

今回は「AとB、どちらがよいか」を選んで書く比較型の意見文。選ばなかった側に少し触れると、説得力が一段上がります——その技も模範解答で確かめましょう。

課題1(40点) 留学生の質問に3文以上で答える

How do you use tablets in your classes in Japan? Do you like using them?

条件

(1)英語3文以上で書く

(2)「どう使うか」と「好きかどうか+理由」の両方に触れる

3文以上(使い方→好きか→理由)

課題2(60点) 意見文: 45語以上

Which is better for studying, paper notebooks or tablets? Write your opinion.

条件

(1)英語45語以上で書く

(2)どちらかを第1文で選ぶ

(3)理由を2つ(First / Second)

(4)まとめの1文(反対側への一言があるとさらによい)

45語以上(語数を数えて右に記入 → 語)

採点のしかた 書いた英文を1回音読してから、観点を1つずつ○×でチェック。○になった観点の点数を合計しよう。判断に迷ったら、次のページの模範解答と見くらべて決めてよい。スペルや語順のまちがいに自分で気づけたら、それはもう半分できたのと同じ。

課題1のチェック(40点)

✓	観点(自分の英文を1つずつ確かめる)	配点
☐	授業での使い方が具体的に書けている	15点
☐	好きかどうか+理由が書けている	15点
☐	3文以上のまとまりになっている	10点

課題2のチェック(60点)

✓	観点(自分の英文を1つずつ確かめる)	配点
☐	立場(どちらが better か)が第1文で明確	15点
☐	理由が2つ、First / Second でつながれている	15点
☐	まとめの1文がある	10点
☐	45語以上ある(数えて記入した)	10点
☐	時制・3単現・複数形のセルフチェックをした	10点

とき終わったら かかった時間(分 秒)→ 合計(/100点) 次のページの模範解答は「暗記する」のではなく「自分の英文と何がちがうか」を1か所だけ見つけて直すのがいちばん伸びる。

課題1 模範解答と組み立て方

模範解答1(肯定パターン)

We use tablets to watch videos in English class and to share our ideas on the screen. I like using them. When we share answers, I can learn from my classmates quickly.

英語の授業で動画を見たり、考えを画面で共有したりします。使うのは好き。答えを共有すると、クラスメイトからすぐ学べます。(33語)

模範解答2(正直パターン)

We often use tablets to look up words and take photos of the blackboard. They are useful, but I sometimes play with them too much. So I like them fifty percent!

単語を調べたり、板書を撮ったり。便利だけど、つい遊んでしまうことも。だから50%好き、です！(31語)

組み立ての手順 「使い方」は to+動詞のリスト(to watch / to share / to look up)で並べると具体的になる。感想は I like ~ だけで終えず、when の文で場面を1つ足す——場面が理由の証拠になる。

よくあるミス(自分の英文にないかチェック)

×こう書きがち	○直すと	なぜ
We use tablet.	We use tablets.	一般論は複数形。数えられる名詞の単数裸はNG
I can search the words.	I can look up the words.	辞書で調べるは look up が自然
It is convenient.(1文だけ)	It is convenient when ~.	convenient は「いつ便利か」までがセット

課題2 模範解答と組み立て方

模範解答1(紙モデル(譲歩つき))

I think paper notebooks are better for studying. First, writing by hand helps me remember new words, because my hand remembers them too. Second, notebooks never stop working, and I am never invited by games. Tablets are useful for videos, but for quiet studying, paper wins.

紙派。第一に、手で書くと手と一緒に覚えてくれる。第二に、ノートは電池切れせず、ゲームにも誘われません。動画にはタブレットが便利だけど、静かな勉強では紙の勝ち。(46語)

模範解答2(タブレットモデル)

I think tablets are better. First, I can carry all my notes in one thin machine, so my bag becomes light. Second, I can listen to English sounds while I read words. Paper is nice, but my tablet is my strongest study partner.

タブレット派。第一に、全ノートが1台に入りかばんが軽い。第二に、単語を読みながら音も聞けます。紙もいいけど、タブレットが最強の相棒。(44語→もう1文で45語以上に)

組み立ての手順 比較型は「選ばなかった側への一言」(Tablets are useful for videos, but ～)を最後に入れると、考えの深さが伝わる——これを譲歩という。設計図は5行: 宣言→First→Second→譲歩→勝ち宣言。

よくあるミス(自分の英文にないかチェック)

×こう書きがち	○直すと	なぜ
Paper notebook is better than tablet.	Paper notebooks are better than tablets.	比較の一般論も複数形で
First, hand writing is remember.	First, writing by hand helps me remember.	「～することは…に役立つ」は ～ing helps me + 動詞
Tablet is bad.	Tablets are useful for videos, but ～.	反対側を全否定せず、譲歩→逆転の形に

表現バンク——次の英作文でそのまま使える

Which is better, A or B?	AとB、どちらがよいか
～ helps me remember	～は…を覚える助けになる
A is useful for ～, but	Aは～には便利だが…(譲歩)
carry ～ in one machine	～を1台に入れて持ち運ぶ
my strongest study partner	最強の勉強の相棒

もう一段のぼる 「譲歩→逆転」は高校入試の意見文で最も評価が上がる一手。No.3(都会と田舎)では、体験を証拠として使う書き方を仕上げる。

先生向け・運用ノート 自校作成・難関校向け(25分+自己採点10分)。ICT活用の校内議論とも直結するテーマ——生徒の実感がのりやすく、語数が自然に伸びる。